

## トピックス1

# お客さま・地域社会の声にお応えする

当社は、「お客さま・地域社会の声にお応えする」ため、グループ一体となって競争力強化、電力の安定供給など、様々な取り組みを推進してまいります。

## お客さまのニーズにお応えする提案活動

### ご家庭のお客さま向け料金プランとサービスの充実

当社は、多様化するお客さまのライフスタイルに合わせた様々な料金プランのご用意や、会員制 Web サービス「よりそうeねっと」のサービス充実など、お客さまに“より沿う”サービスの提供に努め、受付件数・会員数ともに着実に増加しています。

今後も、お客さまのニーズに沿った、魅力ある料金プランやサービスの開発・充実に取り組んでまいります。

### ■当社料金プランとサービスのご紹介

#### よりそう<sup>プラス</sup>

##### おトクなセットプラン

	すまいるセット割 [LPガス]とセット
	「ネット」とセット
	「ホームセキュリティ」とセット
	「ホームセキュリティ」とセット



##### 新料金プラン

- よりそう<sup>プラス</sup> ファミリーバリュー
- よりそう<sup>プラス</sup> シーズン&タイム
- よりそう<sup>プラス</sup> ナイト&ホリデー
- よりそう<sup>プラス</sup> ナイト12

新料金プラン・セットプラン受付件数  
19,000件 (2017年3月末) → **98,000件** (2018年9月末)


#### よりそう<sup>e</sup>ねっと

##### よりそうeねっとの4つの「eね!」

Webで料金 がすぐわかる	各種手続きが 簡単
	
最適な料金プラン がわかる	よりそうeポイント がたまる
	

##### よりそうeねっとのおトクなサービス

1日2回サイコロを振ってゴールを目指そう!







「よりそうeねっと」会員数  
210,000会員 (2017年3月末) → **480,000会員** (2018年9月末)

## 法人のお客さまへのトータルエネルギーソリューションの展開

当社は、法人のお客さまに対し、省エネやコスト低減につながる提案活動を展開しています。東芝キヤリア株式会社と共同開発した「HEATEDGE (ヒートエッジ)」(加熱性能強化型空冷ヒートポンプ式熱源機)など、省エネ性に優れたヒートポンプシステムの提案や、「エグゼムズ」などのエネルギーマネジメントシステム (EMS) の提供をはじめ、トータルエネルギーソリューションをさらに拡充してまいります。

### ■トータルエネルギーソリューションの展開

 <p><b>省エネ</b> 電化による省エネ 優れた省エネ性を実現</p>	 <p><b>ガス</b> 企業グループの設備を 活用したガス販売 グループ企業のLNG設備</p>	 <p><b>EMS</b> IoT等を活用した EMSのご提案</p>	 <p><b>設備</b> 新規計画、設置 メンテナンス お客さま設備調査の様子</p>
エグゼムズで電力を見える化(イメージ)			

## 原子力発電所の安全性向上に向けた取り組み

当社は、新規規制基準適合性審査に対応するとともに、同基準や最新の知見を踏まえた安全対策工事に取り組んでおり、女川原子力発電所2号機については2020年度、東通原子力発電所1号機については2021年度の工事完了を目指しております。また、当社は、地域のみなさまとの双方向のコミュニケーションが不可欠であると考えており、発電所員が立地地域のみなさまのご家庭を戸別に訪問する対話活動を行っております。

引き続き、適合性審査および安全対策工事に全力で取り組むとともに、地域のみなさまのご理解をいただきながら、工事完了後、準備が整った段階での再稼働を目指してまいります。

なお、女川原子力発電所1号機については、新規規制基準への適合などに向けて具体的な対策などの検討を進めてまいりましたが、新たな安全対策設備の追加設置に必要なスペースが女川原子力発電所2号機等に比べ不足していることから、安全性向上対策を行うための技術的な制約が大きく、発電機の出力規模や再稼働した場合の運転年数などを総合的に勘案し、廃止することといたしました。当社といたしましては、廃止に伴う各種手続きを進め、安全確保を最優先に、廃止措置に取り組んでまいります。



防潮堤のかさ上げ工事を行っている  
女川原子力発電所

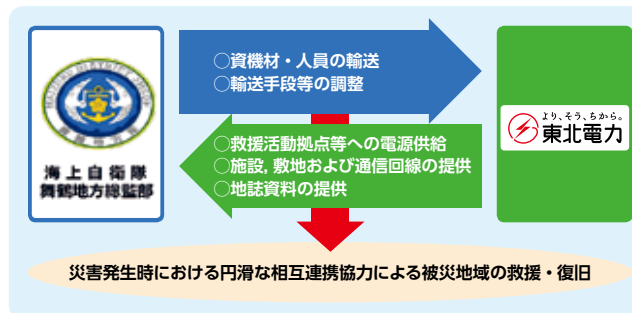
## 電力の安定供給・災害対応力の強化に向けた取り組み

### 海上自衛隊舞鶴地方総監部との災害時の連携に関する協定の締結

当社は、今年8月、海上自衛隊舞鶴地方総監部と、災害発生時の相互協力に向けた協定を締結いたしました。

これまで、陸上自衛隊の2方面隊（東北および東部）と災害時の連携に関する協定を締結しておりますが、海上自衛隊との協定締結は今回が初めてとなります。本協定により、災害発生時における資機材・人員の輸送や、救援活動拠点等への電源供給などで相互に協力するとともに、定期的な会議や訓練の実施などを通じて連携を充実させることで、さらなる災害対応力の強化を図ってまいります。

#### ■災害発生時における相互協力内容



協定締結の様子

当社は、「成長に向けた新たな事業機会を追求する」ため、グループ一体となって大きな成長に向けた取り組みを加速していきます。

### 東北・新潟域外での電力販売

当社は、東北6県および新潟県以外の地域での販売電力量拡大に向け、様々な取り組みを行っております。

家庭用分野では、首都圏のご家庭のお客さま向け料金プラン「よりそう、でんき」について、従来よりもお得な料金単価へ見直しをするなどのリニューアルをしております。さらに、今年3月、「株式会社東急パワーサプライ」に出資し、両社協業により首都圏での販売電力量拡大を図っております。

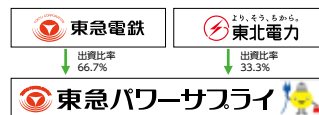
法人用分野では、引き続き、「株式会社シナジアパワー」を通じて、北関東を中心とした関東圏の高圧・特別高圧のお客さまへの積極的な提案活動を実施してまいります。

#### ■首都圏のご家庭のお客さま向け料金プラン

よりそう、でんき

電気をおトクに使いたい  
ふるさととつながってほしい  
東北と新潟を応援したい

#### ■「株式会社東急パワーサプライ」への出資



#### ■「株式会社シナジアパワー」による提案活動



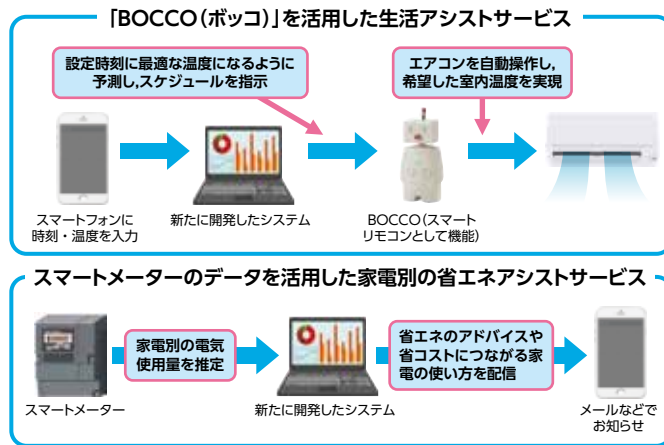
### 将来の事業領域拡大に向けたイノベーションの追求

#### 新たなサービス開発に向けた「よりそうスマートプロジェクト」の開始

当社は、お客さまの快適かつ便利な暮らしを実現する新たなサービスの開発に向けて、IoT や AI などの情報技術やコミュニケーションロボットなどを活用したサービスの検証に取り組む「よりそうスマートプロジェクト」を開始いたしました。

本プロジェクトでは、コミュニケーションロボット「BOCCO (ボッコ) ※」を活用した生活アシストサービスと、スマートメーターのデータを活用した家電別の省エネアシストサービスの2つのサービスについて検証してまいります。

※ ユカイ工学株式会社が開発したコミュニケーションロボット



## 電気自動車を活用したバーチャルパワープラント\*構築に向けた「V2G 実証プロジェクト」の開始

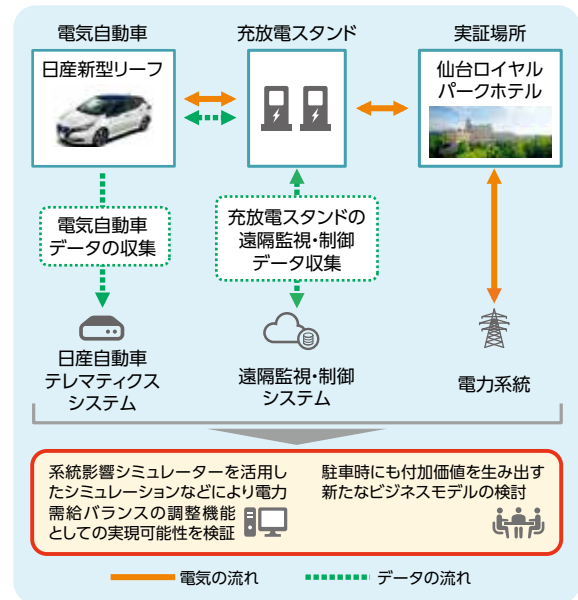
当社は、日産自動車株式会社、三井物産株式会社、三菱地所株式会社とともに、電気自動車の蓄電池を活用し、蓄電池を電力系統に接続して放電する技術 (V2G: Vehicle to Grid) の構築に向けて、2019年3月31日まで実証プロジェクトに取り組むことといたしました。

本プロジェクトでは、電気自動車の蓄電池機能に着目し、自然条件により出力が変動する再生可能エネルギーのさらなる導入拡大に対応するため、電気自動車の電力需給バランス調整機能としての実現可能性を検証いたします。

また、今後の電気自動車の普及を見据え、移動手段としての利便性を損ねることなく、駐車時にも付加価値を生み出す新たなビジネスモデルの検討などを実施いたします。

※バーチャルパワープラント…IoTやAIなどを活用し、地域に分散して存在するエネルギーリソースを遠隔制御し集約することで、あたかも一つの発電所のように機能させること。

### ■ V2G 実証プロジェクトの内容



## 再生可能エネルギー事業の推進

### 福島県浪江町における大規模水素エネルギーシステムでの実証試験に向けた取り組み

当社は福島県浪江町において、国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)、東芝エネルギーシステムズ株式会社、岩谷産業株式会社とともに、再生可能エネルギーを利用した世界最大級となる1万kWの水素製造装置を備えた水素エネルギーシステム「福島水素エネルギー研究フィールド」の実証試験に向けた取り組みを開始いたしました。

本システムでは、年間最大900t規模の水素を製造し、製造された水素は、燃料電池による発電用途や燃料電池車などのモビリティ用途、工場における燃料などに使用される予定です。2019年10月までに本システムの建設を完了させ、2020年7月までに技術課題の確認・検証を行う実証運用と水素の輸送を開始する予定です。



福島水素エネルギー研究フィールド  
完成イメージ

当社は、「変革実現により強固な経営基盤を確立する」ため、組織の変革、多様な人材の活躍推進など、様々な取り組みを進めてまいります。

## 競争に立ち向かう組織への変革

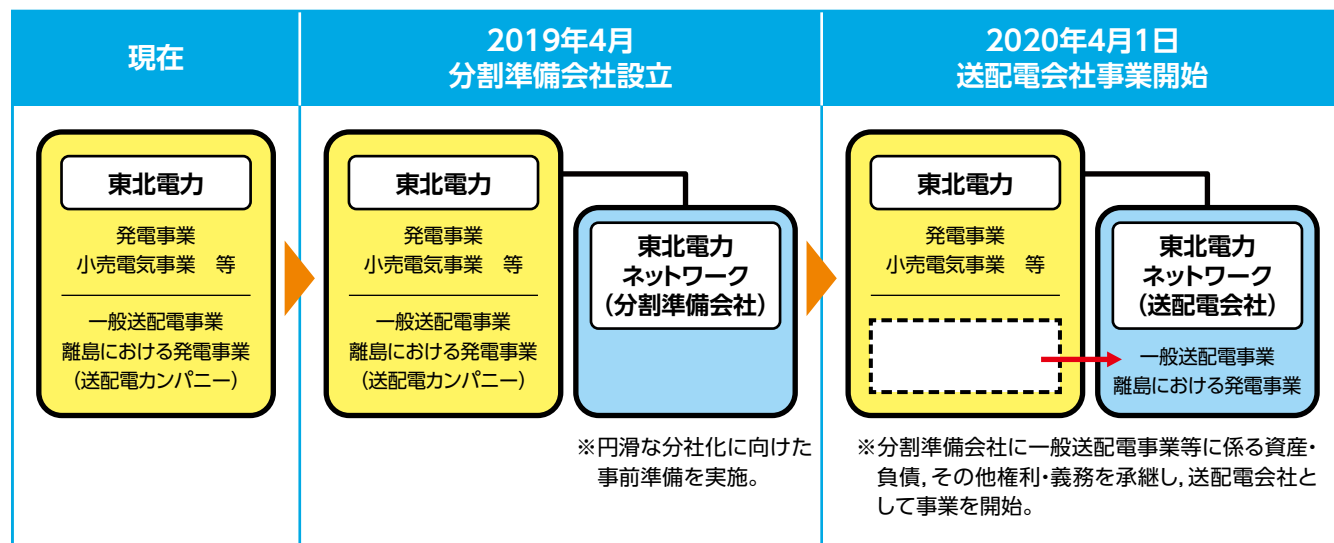
### 一般送配電事業の分社化の方向性について

当社は、2020年4月に予定されている送配電部門の法的分離に対応し、送配電部門の一層の中立性を確保するため、一般送配電事業を分社化し、発電事業および小売電気事業等を運営する「事業持株会社」のもとに、100%出資の送配電会社である「東北電力ネットワーク株式会社」を設置することを基本に検討を進めることといたしました。

分社化の方式としては、「東北電力株式会社」を分割会社とし、新しく設置する「東北電力ネットワーク株式会社」を承継会社とする吸収分割方式を採用することとしております。

今後、2019年4月に分割準備会社として「東北電力ネットワーク株式会社」を設立し、必要な手続きや事前準備を経て、2020年4月に分社化を実施する予定としております。

### ■一般送配電事業分社化の概要



## 多様な人材の活躍推進

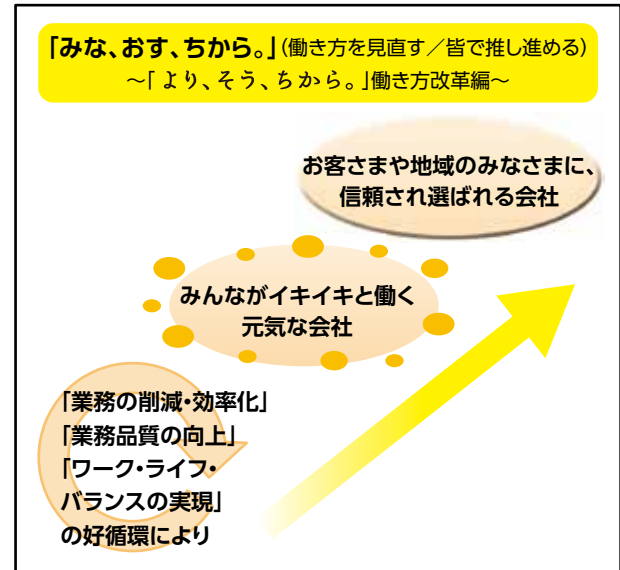
### 働き方改革の推進

当社は、激変する事業環境に対応する強固な経営基盤の確立に向けて、大胆な業務の見直しや柔軟な勤務制度の導入などを柱とする、「働き方改革」に全社一体となって取り組むことといたしました。

「みな、おす、ちから。」をスローガンに、RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）やAIなど、新技術の活用による大胆な「業務の削減・効率化」、業務改善提案や自己啓発を支援する仕組みの活用などによる「業務品質の向上」、在宅勤務制度の導入やフレックスタイム制度の拡大、勤務間インターバル制度の導入による「ワーク・ライフ・バランスの実現」に取り組んでまいります。

これらの取り組みにより、「従業員がイキイキと働く元気な会社」を実現し、「お客さまや地域のみなさまに、信頼され選ばれる会社」を目指してまいります。

### ■当社の「働き方改革」のイメージ



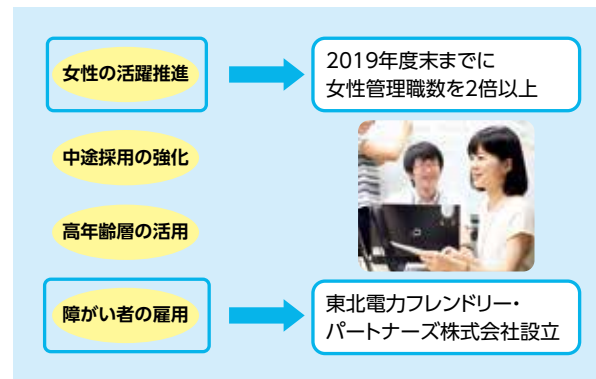
### 女性の活躍推進と障がい者雇用の促進

当社は2016年に「一般事業主行動計画」を策定し、女性従業員を対象とした研修など、女性活躍推進に向けた様々な取り組みを実施しております。

また、今年7月には、障がい者の一層の雇用促進を図ることを目的とした新会社「東北電力フレンドリー・パートナーズ株式会社」を設立し、10月より事業を開始しております。

今後も、地域に“寄り添う”企業として、多様な人材の活躍推進に取り組み、地域やお客さまのご期待にお応えしてまいります。

### ■多様な人材の活躍に向けた取り組み例



## 2018年北海道胆振東部地震の発生に伴う電力復旧応援

今年9月に発生した北海道胆振東部地震により被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。また、被災された地域の日も早い復興をお祈り申し上げます。

当社は、地震発生当日の9月6日から9月19日までの間、現地へ高圧電源車、高所作業車各32台、タンクローリー車3台、延べ754名の応援要員を派遣し、北海道電力株式会社の指揮のもと電力の早期復旧に取り組みました。

今後も、電力の安定供給を担う企業としての使命を果たしてまいりたいと考えております。

### 応援隊出発式

9月6日、原田社長出席のもと、応援隊出発式を行い、迅速に現地へと出発しました。



原田社長による訓示(仙台)



応援隊出発式の様子(青森港)



自衛隊手配の船に乗船する作業車(仙台港)

### 現地での対応

東日本大震災をはじめとする過去の災害復旧の経験を活かし、早期復旧に取り組みました。



北海道電力との現地での打ち合わせ



高所作業車による接続作業



高圧電源車による応急送電